

NPO法人まつえ・まちづくり塾 事業報告書 (平成23年度)

■特定非営利活動にかかる事業

NPO法人 まつえ・まちづくり塾

事業名	事業内容	実施日	実施場所	参加者	支出額(千円) (一般管理費に計上した費用は含みません)
1. まちづくり計画に関する事業					
まちあるきイベントの実施	4月：だんごではしご 6月：母里まちあるき 6月：撮影まちあるき 7月：短大生まちあるき	平成23年4月 ～ 平成24年3月	松江市市街地、伯太町	約50人	
秋のまちコレ	10月：石垣を読み解く だんごでハシゴ 厳かな風情に触れる 11月：松江陰陽五行 出雲狛犬めぐり 松江城は森の中 コンクリート打ち放し建築巡り 12月：伝統の技と商いをだどる堅町 そぞろ歩き	平成24年 10月～12月	松江市市街地	約100人	110千円
傘INプロジェクト	島根県との協働実践事業。JRの忘れ物傘を使用し、市内33カ所で無料レンタル傘の貸出を事業を行った。	平成23年4月 ～ 平成24年3月	松江市市街地		960千円

松江・職人町の景観形成ルールづくりと町屋再生・活用計画（住まい・まちづくり事業）	松江市都市景観課、島根大学、城北公民館と協働により、城下町の面影を残す松江市石橋町をモデルに、ワークショップ等を通じた景観特性の調査や町家の調査を行い、景観形成ルール案の作成を行った。12月には報告会としてフォーラムを開催した。	平成23年9月 ～ 平成24年2月	松江市石橋町	約100人	1,715千円
奥出雲町わがところワークショップ／景観シンポジウム	奥出雲町の3自治会を対象にまちあるきワークショップを開催し、報告書をまとめた。また、景観計画策定に関するシンポジウムを開催した。	平成23年8月 ～ 平成24年3月	奥出雲町	約200人	1,400千円
松江城下町今昔絵図製作	江戸時代の松江の絵図と現在の地図を重ね合わせたまちあるきマップを作成した。	平成23年 12月～	松江市		580千円
松江新大橋商店街まちづくり事業	アーケード建て替えきっかけとする地域の活性化事業。	平成23年4月 ～ 平成24年3月	松江市		950千円
津山市元魚町商店街等来街者アンケート調査業務	来街者のニーズ調査 (商店街活性化の基礎調査)	平成23年10 月～ 平成24年2月	岡山県津山市		580千円

出雲市神門中筋線道づくりワークショップ協力	出雲大社の参道である神門通りの道路改修について、沿道の景観も含めワークショップによってデザインを検討した。	平成23年5月 ～ 平成23年9月	出雲市	—	—
佐田中学校基本計画ワークショップ協力	佐田中学校の建て替えに伴い、生徒や教員、地元の人などを交えてどんな学校にしたいか意見を出し合うワークショップを開催した。	平成24年1月 ～	出雲市	約50人	—
「食」でまちの応援	白潟納涼祭にあわせ、事務所前で飲食店を開催。 だんごではしごの宣伝も兼ね、ノスタルジックたてまちと松江暖談食フェスタの際、豎町会場にだんご屋を出店した。	平成23年 7月、10月、 平成24年2月	白潟本町 タテ町商店街	約300人	—
2. 情報交換・情報発信事業					
まち塾通信（メールリスト）の発信、ブログ、Facebookによる情報発信	イベントの告知や報告等についてインターネットを通じた情報発信を行った。	平成23年4月 ～ 平成24年3月			—
まち塾サロンの開催	まちづくり塾のことをもっと知ってもらい、また話し合える場として、最終金曜日に「まち塾サロン」を開催した。	平成23年5月 ～ 平成24年3月	まつえ・まちづくり塾事務所	約160名	—

3. その他					
基金訓練生の受け入れ	平成22年10月より、基金訓練（OJT）を開始し、訓練生の受け入れを行っている。合計4人が研修を受けた。	平成22年10月～平成24年4月			—